

## 渥美半島大山周辺の野鳥と自然

### ○大羽 康利（渥美自然の会）

愛知県渥美半島の伊良湖岬から東 11～12km 程の所に面積 20 平方 km 弱の山林が広がっている。（以下「渥美山塊」と呼ぶ。）渥美山塊の太平洋側（南側）に渥美半島の最高峰、通称・越戸大山（おっとおおやま 328m）がある。

渥美山塊の大部分はアカマツ・コナラを主とした二次林であるが、原生状態ともいふべきウバメガシ林やカゴノキ・タブノキ林など愛知県有数の自然度の高い常緑広葉樹林が広がっている。渥美山塊はその大部分が三河湾国定公園第 3 種特別地域に指定されており、一部社寺林は第 1 種特別地域に指定されている。

大羽は 1980 年頃からこの越戸大山山麓に生息する野鳥を観察・調査してきた。その内の 1989 年から 1999 年までのデータを整理して紹介する。

渥美山塊ではハチクマ、サシバ、オオタカの繁殖が確認されているほか、山麓では毎年繁殖期にホトトギス、ヤブサメ、オオルリ、サンコウチョウなどが複数箇所記録されている。

渥美半島及び伊良湖岬はタカ・小鳥類の渡りの地として知られているが、渥美山塊に生息するタカ・小鳥類も山塊の高度と面積の割には豊富であると考えられる。

なお、伊良湖岬を春秋に渡るタカ類がどのように渥美山塊を通過しているかを調べた、愛知県豊橋土木事務所の調査結果も紹介する。